

## 二次分析道場！

日時： 3月3日（木）～3月4日（金） 10:00～17:15

場所： 東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟 5階・センター会議室（549号室）

料金： 一般 10,000円、学生 5,000円

講師： 石田浩（東京大学）・三輪哲（東京大学）

定員： 25名

### ■本コースの内容

個票データの二次分析に関する総合的な応用コースです。東京大学社会科学研究所にてデータアーカイブや社会調査に携わってきた講師によって、公開データへのアクセス方法、計量分析の基礎と応用、東京大学社会科学研究所の考え方を解説します。また、実際に統計ソフト SPSS を用いてデータ分析の練習をします。SSJ データアーカイブに寄託されているリアル・データを使って、実践的な二次分析を一通り体得できることが特徴です。

なお、回帰分析については扱いませんので、そちらに関心がある方は「二次分析のための R 入門」や「計量経済学の第一歩：R による回帰分析」の受講をご検討ください。

### ■次のような方におすすめです

- ・統計の初歩はマスターしたので、いよいよ計量分析による実証研究に挑戦したい
- ・公開データを使って、計量的な論文を作成したい
- ・どうやって統計モデルによって仮説を検証するのか、その方法を習得したい
- ・カテゴリカルデータ分析（クロス表、ロジスティック回帰分析）の応用の仕方を学びたい
- ・計量分析と社会科学研究所の方法について、復習したい

### ■注意事項

- ・SSJ データアーカイブのデータを利用するため、大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・本コースは SPSS の操作を学ぶことではなく、二次分析の研究方法の習得を目的としています。そのため、SPSS の基本的操作（立ち上げ方やファイル保存、表の出力の仕方など）および初等的な統計学の知識（クロス集計表、検定、測定の尺度、回帰分析など）のある方に受講を限らせていただきます。これらの予備知識のない方は、「二次分析入門！」コース（3月1日、2日開催）の受講や自習などをご準備をお願いいたします。
- ・受講者全員に、三輪哲・林雄亮編『SPSS による応用多変量解析』（オーム社・2014年）を配布し、一部をテキストとして使用します（テキスト代は受講料に含まれます）。本講座と合わせて「二次分析入門！」（3月1日、2日開催）を受講される場合でも、配布は1冊のみです。
- ・受講にあたり、以下の条件を満たすご自身のノートパソコンをご持参ください（分析ソフト SPSS がインストールされている必要はありません）。なお、Mac をご使用などで、やむをえず Windows OS のノートパソコンをご用意できない方のために、当センターで各コース3名まで、貸出用のノートパソコンを用意いたします。貸出しは先着順となりますのでご要望に沿えない可能性もございますが、ご理解をお願い申し上げます。

**【パソコンの条件】**

OS： Windows 7/ 8/ 10 (Mac は対応していません)  
メモリ： 4GB 以上 (64 ビット版の場合は 8GB 以上推奨)  
HDD 空き容量： 2GB 以上

- SPSS がインストールされていないノートパソコンをご持参の方は、1 日目 (3 月 3 日) の講義開始前にインストールを行いますので、9 時 30 分までに会場にお越しください。インストール済みの場合は講義開始時間の 10:00 までにお越しください結構です。

**■本コースの日程・概要**

- 3 月 3 日 二次分析とは？／データアーカイブの意義と役割／計量分析研究の基礎と「問い」  
「仮説」／調査データの特性と誤差／欠損値とそのさまざまな扱い方／一変数分布の問  
いに対応する統計モデル／交互作用の検討
- 3 月 4 日 多変数の関連とシステム分析／パネルデータのハンドリングと分析／二次分析の  
可能性／二次分析のまとめ方とポイント／二次分析のマナー
- \* 進度によって、日にちごとの内容が若干変わることがあります。